

2021 ロバパンカップオホーツク地区予選大会

開催にあたってのガイドライン

このガイドラインは、ロバパンカップ以降に行われるリーグ戦など、今年度、屋外で行われるすべての試合に適用します。

今後、感染状況が変わったり、道協会から新たな通達が発出されたりした場合は対応が変わる可能性があります。

1. 参加にあたって

(1) コロナ対策チェックシート等について

※各チェック票は試合当日までに、チームの感染対策責任者が参加選手及び関係者（指導者・帯同審判員等）分のチェックシートを全てとりまとめ会場へ持参し、会場の感染対策責任者と共に内容の確認後、回収もしくは返却する。

① チームで管理・保管するもの(個人で管理しチームに提出するものも含む)

“A”：各選手の検温、体調確認表（個人で管理→チーム感染責任者へ）
個人で保管することとします

“B”：感染予防チェックリスト（チーム感染責任者管理）
新型コロナウイルスへの対応をチェックし、チームで十分な対応が取れていることを事前に確認してください。

② 4種委員会(会場責任者)に提出するもの

“C”：監督・指導者・審判・救護・審判・観客など、選手以外の氏名と役職名を記入し、大会当日、4種委員会会場責任者に提出してください。(観客は当日の体温も) **決められた人数以内であれば、救護・観客は試合ごとに入れ替わることができます。**

*ベンチ入りスタッフ：4名まで

救護スタッフ：自チーム試合中、**本部テント**で待機

本部テント：自チームの試合が行われるコートの本部側

“D”：選手・チーム役員・スタッフの健康チェックシート

(→4種委員会会場責任者→4週間保管後廃棄)

事業(リーグ戦の初日)開始 2週間前から、選手・チーム役員・審判の体温と体調を記録し、大会当日、4種委員会会場責任者に提出してください。

4種委員会は、4週間保管し何もなければ責任をもって廃棄します。

このチェックシートは、参加を断るためのものではありませんので、正しく記入してください。

***観客はこのシートには含まれません。C票に当日の体温を記入してください。**

(2) 遠軽球技場に提出するもの

遠軽はやぶさの松村監督が、すでにまとめて提出済みです。

(3) マスクの着用

応援の方を含め、会場にいるすべての参加者(試合中・アップ中の選手、審判を除く)は必ずマスクを着用します。

マスク及びマスクを入れる袋には必ず記名してください。

(3) ごみの持ち帰り

各チーム、個人のごみは必ず持ち帰ってください。

(4) 体調不良の場合

試合当日、体調不良(発熱・咳・咽頭痛などの症状)や、同居家族や身近な人に感染が疑われる人がいる場合、会場に来ることができません。

2. 試合の実施

(1) 会場入り時間

各チームは、自チーム試合開始の1時間30分前までは会場入りできません。

(例：試合開始時間10:00の場合8:30以降に会場入り可能)

(2) 用具チェック

選手の用具チェックは、それぞれのベンチ前で選手の間隔を十分にとって行います。

(3) あいさつ

試合前・後は、ベンチ前で整列し、コートに向かってあいさつします。

(4) ベンチ

①チーム役員及び控え選手は十分な間隔をとる必要があるため、ベンチの持ち込みを不可とします。そのため、チームベンチ内で立って控えても良いこととします。

複数のチーム役員が立っている場合でも、選手への声掛けは1名としてください。

②ベンチからの声掛けは、必要最小限にとどめてください(応援席からの指示はできません)。

③ベンチ内の指導者・控え選手は必ずマスクを着用します。(記名)

④マスクを外せるのは、プレーする選手・アップ中の選手のみとします。

⑤外したマスクは個人で用意した袋に入れ、各自で保管します。

⑥選手の飲み物、汗拭き用のタオル、熱中症防止用の冷やしたおしぼりなどは選手間で共有せず、すべて記名し各自で保管します。

(5) 体調不良者(発熱・咳・咽頭痛などの症状)が出た場合

①各チームは会場責任者、会場責任者離席時は本部在席役員に報告してください。

②選手が体調不良の場合、該当選手は直ちにプレーを停止し、各チームで体調の確認・休養・帰宅などの対応をお願いします。

③体調不良が長引く場合は、国・自治体が示した基準にのっとり対応したうえで、4種委員会に報告してください。

(6) けが人が出た場合

- ①試合中にけが人が出た場合、審判の指示に従ってください。
- ②けが人を運ぶ場合は担架を使用し、対戦チーム同士で協力して対応します。

(7) 監督・代表者会議

① 時～

- ②監督・代表者会議を実施する場合は必ずマスクを着用し、短時間で終わらせます。
- ③当日の日程終了後に反省会を実施し、試合結果等を確認します。
各チームから必ず1名参加。参加できない場合は会場責任者に連絡してください。

(8) 開会式・閉会式

- ①開会式は行いません。
- ②閉会式は、それぞれのブロックの日程が終わった時点で行う予定ですが、今後の感染状況により、変更の可能性があります。

(9) 選手証のチェック

- 会場についてチームから、本部で確認します。
- 本部前に、選手証の順に並んでチェックを受けてください。

3. その他

(1) 観戦

- ①タッチラインから5 m以上離れて応援してください。
(5 mのところを目安のラインを引きます)
密にならないようお互いに声を掛け合い、離れて観戦してください。

観客の間隔 マスクをしたうえで1 m以上

- ②観戦は、タッチラインサイドのみとし、ゴールライン側には行かないでください。
- ③各チームは、1試合につきピッチ上にいることのできる数を、ベンチ指導者・救護スタッフ・観客の人数の合計が20名までとします。
(公益財団法人北海道サッカー協会「6月21日(月)から7月11日(日)までの期間における各種事業の実施について(通知)」にもとづく)
- ④飛沫飛散防止のため声を出しての応援は控えてください。
- ⑤引率の保護者は、自家用車で待機してください。ただし、熱中症対策のために自家用車から出るなど、必要に応じて行動してください。
- ⑥駐車場やテントスペースでお子さんが待ち時間に遊ぶことのないよう、お願いします。

(2) チームテント

- ①ほかのチームのテントとの間隔を十分に開ける。
- ②テント設置の主な目的は、選手の荷物を置くためとする。
- ③選手が試合の待ち時間にテントに入る場合は、過密状態を避けるよう、チームス

タッフで対応する。

*チームスタッフ = ベンチ入り指導者、審判担当者、救護スタッフ

④各チーム保護者は、チームテント設置後速やかに自家用車に戻る。

(3) トイレ・手洗い場

①トイレ後は、必ず30秒以上、手洗いをしてください。

泡せっけんなどで洗えない場合は、アルコール消毒をしてください。

②一度に多くの人数が利用しないよう、お互いに確認するようお願いします。

(4) 手拭き・汗拭きは各自持参し、個人管理を徹底してください。

他の選手と共有する、共通の袋に入れる等のないようお願いします。

(5) 新型コロナ感染者接触確認アプリ「cocoa」のダウンロードは必要ありません。

(6) 試合の撮影について

自チームの試合中に本部で待機する救護スタッフは、試合の撮影はできません。

撮影する場合は、観覧席からお願いします。

(7) 会場内での食事はできません。昼食やお菓子をとる場合は自家用車に戻ってください。